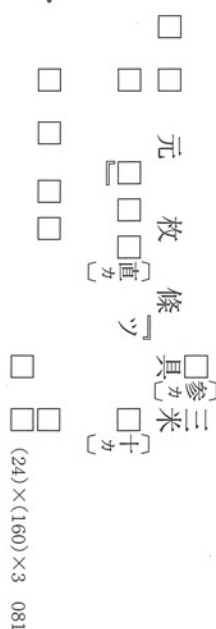


二 第二次調査

(1)



(1)は、横材の帳簿木簡。上下端折損、左右側面割れ。表面は少なくとも二段で構成されている。下段の一字目とみられる別筆の部分はやや小振りの文字である。

9 関係文献

奈良国立文化財研究所『飛鳥・藤原宮発掘調査概報』三、五（一九七三年、一九七五年）

同『飛鳥・藤原宮発掘調査出土木簡概報』一、一七（一九七三年、二〇〇三年）

木簡学会編『日本古代木簡選』（一九九〇年）

（竹内 亮）

直木孝次郎・鈴木重治編

『世界遺産平城宮跡を考える』

～考古学・歴史学・地質学・環境論・交通論から～

現在、木簡学会など二四の学会・団体が構成し活動が続けるシンポジウム「世界遺産平城宮跡を考える」実行委員会が、二〇〇一年一月に開催した第一回シンポジウムの記録。内容は左記の通り。

平城宮地下高速道路問題について考える―開会にあたって―（甘粕健）、古代史研究と平城木簡（佐藤宗諱）、聖武天皇と四都（小笠原好彦）、平城宮跡とユネスコ・世界遺産条約（野口英雄）、世界遺産古都奈良の文化財を大気汚染からまもる（西山要一）、奈良市内のド真ん中に超高速道路が必要か（小井修一）、平城宮と木簡（寺崎保広）、パネルディスカッション「世界遺産・平城宮跡の保全と活用をめぐって」

実行委員会の構成団体の一つでもある平城京を守る会が二〇〇一年一〇月に行なった「守ろう世界遺産・平城宮跡の集い」の記録、及び今回の平城宮跡保存に向けての活動の記録（各学会・団体の要望書・声明など、及び年表）を併載。

四六版並製 三六八頁 カラー図版四頁 図表写真・一〇五点
本体価格二五〇〇円＋税 二〇〇二年七月（株）エイ・アイ・メディア刊

〒三四四―〇〇六七

埼玉県春日部市中央四―九―一三八

電話〇四八―七六〇―一八〇八

FAX〇四八―七六〇―一八〇九